

～ 大町市・白馬村・小谷村の皆様へ ～

ごみ処理広域化の現状について

北アルプス広域連合

現在、私たちの可燃ごみは、大町市の大町市環境プラントと白馬村にある白馬山麓清掃センターの2か所で焼却処理されています。

ご存知のとおり、北アルプス広域連合では、老朽化したこの2施設に代わり、新しい焼却施設でごみを焼却処理する計画を進めています。

昨年、建設候補地として大町市三日町が選定され、地元自治会では、施設の受け入れの是非について真剣に検討いただいています。



なぜ、広域化が必要なの？

◎ 計画しているごみ処理施設では、最新の焼却設備と排ガス高度処理設備を設置することとしています。最新の排ガス高度処理設備は、ごみ焼却設備以上の費用が必要となります。

また、施設の稼働には、毎年、維持管理費用も必要となります。

そのため、白馬村飯森地区を建設候補地とすることを断念した際に、ごみ処理のあり方について3市村で再検討されましたが、皆様からいただく税金の効率的な活用と、ごみの衛生的な処理という地方自治体の責務を安定的に果たすため、引き続き広域化を進めることが決められました。

現有施設の実績	大町市環境プラント	白馬山麓清掃センター
建設工事	約 9億3,500万円	約5億5,000万円
排ガス高度処理設備工事	約14億4,200万円	約8億7,700万円
補修費用 (H22年度)	7,867万円	8,805万円

◎ 現在の2施設は、いずれも稼働から20年以上が経過し、老朽化が進むとともに、その補修にかかる費用も増大しています。

◎ 大町市環境プラントは、地元山下地区と大町市の話し合いで、平成26年度末までに、現在の焼却施設を停止する約束をしています。

現在の2施設（大町69 t/日、白馬30 t/日）の能力に対し、新しい施設の規模は、40 t/日としています。

安曇野市や松本市にある施設（150 t/日、450 t/日）に比べても、小規模な計画です。さらに、一層のごみの減量化を進め、最小限の規模を計画します。

広域化の現状は？

平成 21 年

- ・ 広域連合にごみ処理施設検討委員会を設置
（建設候補地の再選定がスタート）

平成 22 年

- ・ ごみ処理施設検討委員会が建設候補地として大町市三日町を選定
- ・ 三日町自治会に対し、新しい施設の概要、今後の進め方、候補地選定の経過などについて説明
- ・ 3市村で広域化に係る説明会を開催
- ・ 三日町自治会の皆さんに対し、現地見学会を開催

（参加者の声）

「候補地がこんなに広い場所と、初めて知った。」

「施設から生まれるお湯を、例えば農業に利用できないか」

3市村の皆様にお願い

地元の皆さんは、「ごみ焼却施設」への不安と、どこかに必要な施設であること
の理解の中で、判断されることとなります。

そのような地元の皆さんの思いを、3市村の皆様もご理解をお願いします。

今後、ごみ焼却施設建設を受け入れていただくことになった場合、広域連合で
は、生活環境影響調査を行うこととしています。その中で把握した課題について
地元自治会とよく協議し、必要な周辺環境の整備（緑地・公園化など）や地区の
振興策についても、地元自治会と相談をしてみますが、そのための一定の投資
についても併せて、ご理解をお願いします。

ごみ問題は、現在稼働中の施設や計画中の地元だけの問題では決してありませ
ん。私たち、一人ひとりが、ごみを減らし、分別を徹底させ、家庭や職場で出来
ることに、これまで以上に取り組んでいく必要があります。



広域連合のホームページでは、これまでの
取り組みや、建設候補地の選定経過だけでな
く、説明会の資料や、当日寄せられたご意見
に対する考え方などをご覧いただけます。

ご不明の点などありましたら、お気軽にお尋ねください。

北アルプス広域連合 ごみ処理広域化推進係

電話：0261-26-3545

FAX：0261-22-7011

E-mail：kitaalps@kita-alps.omachi.nagano.jp

平成 23 年 9 月 12 日